

山梨県立高校の授業で「明るい未来へTRY!」を用いた 授業実践が行われました！

～身の回りのリスクへの対策と損害保険の基本と種類について学ぶ～

日本損害保険協会 関東支部 山梨損保会（会長：橋本 貴雄・三井住友海上火災保険株式会社 山梨支店長）では、今年度、山梨県立高校の家庭科および公民科において、当協作成の高校生向け金融教育副教材「明るい未来へTRY!」を活用した授業実践が行われ、関東支部職員がそれぞれサポートしました。

家庭科では、2025年7月と2026年3月に甲府昭和高校（中野 裕子教諭／指導領域：家庭基礎）で3学年12名・1学年216名を対象に、また、2025年12月に甲府城西高校（萩原 佳蓮教諭／指導領域：消費者教育）で1学年246名を対象に、公民科では、2026年3月に青洲高校（矢崎 秀幸教諭・水口 裕暉教諭／指導領域：公共）で2学年68名を対象に、身の回りのリスクへの対策と損害保険の基本と種類について学ぶ授業が行われました。

各授業において、家庭科では、「将来に備えた経済計画を考えよう」というテーマで、公民科では、「自助・共助・公助の適切な組合せについて考えよう」というテーマで、家計管理のポイントや貯蓄と保険の違いについて、また、人生で遭遇する可能性のあるリスク、社会保険と民間保険の違い、リスクに備える保険と役割などについて、身近な具体事例に基づく説明が行われました。

次の展開として、同副教材「やってみたいこと編」の中から、「憧れの一人暮らしがしたい!」、「友だちとドライブに行きたい!」のいずれかを選び、ワークシートを用いてリスクとその対策について、まずは各自で考え、その後、グループで意見交換と発表を行いました。最後に、すまいの保険やくるまの保険の解説を行い、日常生活でのリスク回避の心掛けや備えの必要性について補足がありました。

生徒からは、「社会保険だけでは、保障されない部分や保障が十分ではない部分があるので、民間保険で備える必要があることが分かった。」「いつ起こるか分からないリスクに対して、保険に入っておけば、大きな損失を出さなくて済み、安心した生活を送れるというメリットがあることを学んだ。」などの感想が出され、本授業を通じて、リスクに対しては保険を活用することが重要であると認識してもらうことができました。

当支部では、このような授業実践を通じて、高校生の損害保険リテラシーの向上に努めてまいります。



1. 甲府昭和高校における授業実践



2. 甲府城西高校における授業実践



3. 青洲高校における授業実践



4. グループディスカッションの様子